

新型コロナウイルス感染拡大予防のための協力のお願い

(令和4年11月10日改定版)

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、三つの密のリスクが比較的高いと考えられるホール・練習室の利用において、全ての利用者の皆様（催物主催者・公演関係者・来場者、練習利用者）が、相互に感染回避に取り組むことが求められています。

当館でも、皆様の安全を確保しながら、文化活動の再開に寄与していくため、感染に対する最大限の対策を講じたいと存じます。

以下、感染症対策として、皆様にも留意していただきたい事項をまとめました。何卒ご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

なお、この協力のお願いは、「新型コロナウイルス感染拡大予防のための協力のお願い」（令和2年6月25日付、10月17日改訂、11月30日改訂、令和3年3月11日改訂、5月14日改訂、6月30日改訂、8月31日改訂、11月8日改訂、令和4年3月30日改訂）を改定したものです。

全ての利用者の皆様に協力をお願いする〔基本的な感染防止策〕

(ワクチン接種の有無や回数に関わらず、全ての皆様をお願いします)

・施設内でのマスクの着用

鼻にフィットさせたしっかりとした着用を徹底し、できるだけフィルター性能の高い不織布マスクを使用してください。

(着用が困難な場合、タオルやハンカチで鼻・口を覆うなど代替策を講じてください)

・入館時の手指消毒、手指の消毒や手洗いの励行

(破損の恐れがあるため、ピアノや貸出楽器の消毒はお控えください)

・大声を出さないこと、会話の抑制、咳エチケットの励行

・相互の社会的距離の確保

・常時換気の徹底

当館は強制的な機械換気を常時行っていますが、必要に応じて窓や扉の開放等により自然換気を図ってください(楽屋・練習室は設置したCO₂(二酸化炭素)センサーの数値が概ね1,000ppm以下となるよう換気を行ってください)。

・感染防止策をとったエリア以外での飲食の制限(ペットボトル等を除く)

食事中の対面会話や発声控え

・発熱(37.5°Cまたは平熱より0.5°C以上高い熱)や下記の症状等がある場合には来館を控える

□咳、喉の痛み、呼吸困難、全身倦怠感、鼻汁・鼻づまり、味覚・嗅覚障害 等

□陽性とされた者(無症状を含む)、またその濃厚接触者として待機期間中の場合

・必要回数のワクチン接種の推奨

練習利用の皆様へ協力を求める具体的な感染防止策

前記の〔基本的な感染防止策〕を踏まえるとともに、各ジャンルの統括団体等のより詳細なガイドラインも参照してください（ジャンルにより対策の必要性や水準等が異なるため）。

○館内ではマスクの着用が前提となります。できるだけ不織布マスクを使い、鼻にしっかりとフィットさせてください。

○特に飲食をする場合は、対面での会話や発声を控えてください。

○必要に応じて適宜換気を行ってください。

○飛沫が発生する合唱（カラオケを含む）や吹奏楽（管楽器）、演劇等については、以下の点に十分注意を払って実施してください（マスク着用が難しい場合は特に注意をしてください）。

- ・対面での発声や演奏は避け、原則、一列で一方向を向いて行い、やむを得ず、列を複数つくる場合には、市松模様状に編成するなど、前後の距離に注意してください。
- ・合唱（カラオケを含む）については、歌手の間が最低でも1mの市松模様となるよう努めてください。距離の確保が難しい場合は、マスクを着用してください。
- ・トランペット・トロンボーンは前方の演奏者との距離を最低でも1.5m確保するように努めてください。

○練習室は、大声での発声が伴わない利用については、会場のこまめな換気等、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、定員までの利用が可能です。一方で、条件が担保されない場合は人数を制限してください。

○大声での発声が想定される場合は、定員の50%程度まででのご利用をお願いします。

例) 合唱、カラオケなど歌唱を伴うもの。演劇、ミュージカルなど。

施設の定員と半分程度の人数（目安）

	定員	50%		定員	50%
ホール	530	265	練習室7	27	14
練習室1	100	50	練習室8	32	16
練習室2	40	20	練習室9	30	15
練習室3	40	20	練習室10	100	50
練習室4	36	18	練習室11	80	40
練習室5	24	12	練習室12	40	20
練習室6	24	12	練習室13	80	40

音楽文化会館では以下の感染防止対策を行っています。

- ①〔基本的な感染防止策〕について、事前の周知
- ②会館業務従事者に関する感染防止策の徹底
- ③接触感染防止策
 - ・不特定多数が触れやすい場所を、利用者入れ替え毎に消毒
 - ・施設の出入口と共用部分に手指消毒用の消毒液を設置
(1F・2F 入口、3F ロビー、ホール舞台袖、各楽屋、各練習室)
- ④飛沫感染防止策
 - ・マスク着用を掲示等で周知。着用していない場合には個別に注意
 - ・施設内では十分な間隔を空けた整列を促すよう掲示等
- ⑤エアロゾル（マイクロ飛沫）感染防止策…換気機能を十全に運用・発揮して感染防止を図る。各楽屋、各練習室への CO2 センサーの設置。
- ⑥対策備品の用意…必要に応じ貸し出します。事前にお申し出ください。
 - ・非接触体温計（ハンディタイプ）*個数にはゆとりがあります。
 - ・卓上用アクリル板（高さ 60cm×幅 90cm）
 - ・移動用飛沫防止シート（高さ 180cm×幅 90cm） ※ホールは 3 本まで貸出
- ⑦感染者が発生した場合への備え
 - ・保健所との連絡体制
 - ・体調不良者への対応を事前に検討。隔離室や備品を準備。
 - ・会館業務従事者・公演関係者への感染が疑われる場合の対応を事前に検討。

なお、本「協力のお願い」の内容は、今後の対処方針の変更のほか、新型コロナウイルスの感染の動向や専門家の知見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものといたします。また再度、感染の拡大などが認められた場合には、厳しい行動変容の要請などを行う場合があります。

また、本「協力のお願い」は、以下を基に作成しました。

- ・新潟市 文化芸術活動の実施に関する新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン
作成：新潟市・アーツカウンシル新潟（令和 4 年 11 月 10 日改訂）
- ・劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版
作成：公益社団法人全国公立文化施設協会（令和 4 年 10 月 31 日付）

新潟市音楽文化会館 TEL025-224-5811 onbun@niigata.email.ne.jp